カードラリーGIFU 提出用ファイル作成ツール 説明(各画面、各シート、ファイル)

【1】各画面説明

カードラリー岐阜(マクロ) Excelファイルの「起動、基本データ」(※)シートの [カードラリーツール起動] ボタンクリックにより表示される3つの画面について以下の各項で説明します。

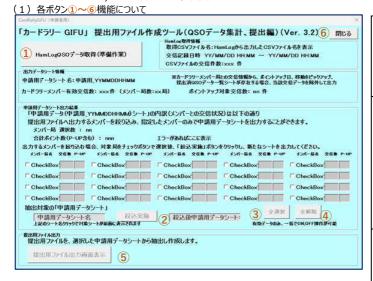
- 1. 1. CardRallyGIFU(申請者用)画面
- 1. 2. 事前準備画面
- 1. 3. カードラリーGIFU 提出用ファイル出力画面

※:ツール「起動、基本データ」シートについては、表示された画面に説明が記載されているため、説明省略します。

1. 1. CardRallyGIFU (申請者用) 画面

HamLogQSOデータの取得画面を表示、データ取得を実施した後、カードラリー事務局へ提出するためのデータ選択を実施する為の主画面。

1. 1. CardRallyGIFU (申請者用) 画面の各項目説明



HamLogQSOデータ取得画面へ遷移するためのボタン。 ・本ボタンクリックにより、「HamLogQSOデータ取得画面」を表示。 ・「HamLogQSOデータ取得」画面表示中はボタン色をグリーンに **1**) 変化。 ・「HamLogQSOデータ取得」画面が閉じられるまで、本画面に 存在するボタンは全て操作不可。 絞込後申請用データシートを作成するためのボタン。 ・ 記動直後は、操作不可。 ・「HamLogQSOデータ取得画面」の操作が終了し、Hamlog からデータを取得した時点でボタン操作可。 ・「絞込後申請用データシート」作成中はボタン色をオレンジに変化。 2 ・本ボタンクリックにより、チェックボックスで選択されたメンバー局との 交信データを抽出し、作成された絞込後申請用データシート名が ボタン右横に表示。 ・ボタン操作の都度、新たな申請用データシートを作成。 メンバー局(初期表示は、CheckBox)を すべて選択状態とするボタン。 ・記動直後は、操作不可。 ・「HamLogQSOデータ取得画面」の操作が終了し、Hamlog からデータを取得した時点でボタン操作可。 ・メンバー局名表示の無い箇所は選択されない。 メンバー局(初期表示は、CheckBox)を すべて選択解除状態とするボタン。 ・起動直後は、操作不可。 **(4**) ・「HamLogQSOデータ取得画面」の操作が終了し、Hamlog

からデータを取得した時点でボタン操作可となる。

本画面(ツール)を閉じるためのボタン。

示するボタン。

6

・起動直後は、操作不可。

抽出対象の「申請用データシート」より、提出用ファイル出力画面を表

・「申請用データシート」が作成された時点でボタン操作可となる。 ・「提出用ファイル出力画面」表示中はボタン色をベージュに変化し、 画面が閉じられるまで、本画面に存在するボタンは全て操作不可。 ・本ボタンクリックにより、「提出用ファイル出力画面」が表示。

(2) CheckBoxの表示項目

最大メンバー数20局を表示することが可能、以下に起動直後とHamLogデータ取得後の該当部分の画面イメージを表示

<起動直後画面イメージ>



<HamLogQSOデータ取得後画面イメージ>

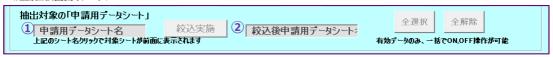


1	チェックボタン部	起動直後は、空白。 HamLogQSOデータ取得後に、メンバー局が存在する場合にON設定となり、それ以外はOFF設定。 QSOデータに交信データ無い(NotListsも含む)場合は、選択不可。
2	メンバー局名	起動直後は、未設定(CheckBox1を表示)。 HamLogQSOデータ取得後は、カードラリーメンバー局を表示し、 メンバー設定が無い場合は、NotListsの表示。 QSOデータに交信データ無い(NotListsも含む)場合は、選択不可。
3	交信数	起動直後は、空白。 HamLogQSOデータ取得後、メンバー局との交信数を表示。
4	P-UP	起動直後は、空白。 HamLogQSOデータ取得後、メンバー局との交信でポイントアップ対象ポイント数を表示。

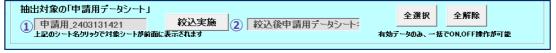
(3)抽出対象の申請用データシート

シートに出力された申請用データシート名を絞込前と絞込後の出力シート名を表示。 「提出用ファイル出力」画面の"絞込前データシート名"、"絞込後データシート名"にそれぞれ一致。

<起動直後画面イメージ>



<HamLogQSOデータ取得後画面イメージ>



1	田詰田データシート名	HamLogQSOデータ取得時に設定。 シート名が設定されていた場合、このテキスト部分を左クリックにより、該当シートの表示が可能。
2	絞込後申請用データシート名	「絞込実施」ボタンクリック時に設定。 ボタンクリックの都度新たに作成されたシート名を表示。 シート名が設定されていた場合、このテキスト部分を左クリックにより、該当シートの表示が可能。

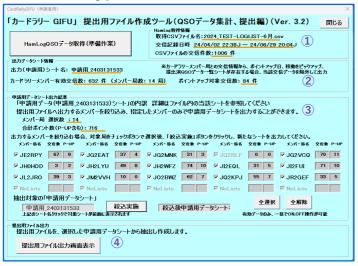
(4) 各種表示エリア

CardRallyGIFU(申請者用)画面は、4つ(①~④の枠内)の表示エリアで構成



1	HamLogから取得のCSVファイル情報を表示する
1	「HamLog取得情報」欄 (左図①参照)
	①で取得した情報より、
2	カードラリーメンバーとの交信情報を抽出した情報を表示する
	「出力データシート情報」欄 (左図②参照)
	②で出力した申請用データシートの内訳を表示し、
3	提出用ファイルへのデータ選択(絞り込み)が可能な
	「申請用データシート出力結果」欄 (左図③参照)
	③で出力した申請用データシートから
4	提出用ファイルを出力するためのボタンを配置した
	「提出用ファイル出力」欄 (左図④参照)

1. 1. 2. HamLogQSOデータ取得後の画面説明



※ **1:有効交信**とは

1日2QSO以上が存在した場合、1QSOのみが対象となる。 ただし、該当日の交信にポイントアップ対象交信が存在した場合は、 ポイントアップ対象交信を優先し抽出する

※ 2:ポイントアップ対象交信とは

- ・メンバー局との交信日が開催期間中(4月~9月)19日の場合
- ・メンバー局の移動運用地が事務局からあらかじめ指定され市区郡町村の場合

HamLog取得情報欄

·取得CSVファイル名

HamLogから取得したCSVファイル名を表示・交信記録日時

① HamLogから取得したCSVファイルに記録されている開始日時、 最終日時を表示

·CSVファイルの交信件数

HamLogから取得したCSVファイルに記録されている交信件数を表示

出力データシート情報欄

・出力(申請用)シート名

HamLogデータよりメンバー局との交信情報のみを抽出した 「カードラリーQSOデータ」シートから、ポイントアップ条件等を含み 抽出したデータを出力した申請用データシート名を表示。

2 ・カードラリーメンバー有効交信数

出力(申請用)シートに存在している、メンバー局との**有効交信** (※1)件数、メンバー件数を表示。

・ポイントアップ対象交信数

出力(申請用)シートに存在している、メンバー局との**ポイントアップ対象交信(※2)**件数を表示。

申請用データシート出力結果欄

- ・②で出力した申請用データシート名を表示。
- ・メンバー局選択数

チェックボックス(メンバー局)の選択数を表示。

・合計ポイント数

チェックボックス(メンバー局)で選択された箇所すべての交信数、P-UP数を合計した数を表示。

- ③ ・チェックボックスのOFF-ON操作によるデータ選択
 - ・HamLogQSOデータ取得直後は、交信データが存在する箇所 はすべて「チェック」ON状態。
 - ・申請用データシートから抽出した、各メンバー局との交信数、 P-UP(ポイントアップ)件数をそれぞれ表示。
 - ・「絞込実施」、「全選択」、「全解除」ボタン操作が可能になる。
 - ・「絞込実施」により出力された、シート名を「絞込後申請用データシート」欄へ表示。

提出用ファイル出力欄

1. 1. 3. HamLogQSOデータ取得後、申請用データシート出力結果欄での絞り込み操作

CheckBox (メンバー局) のON-OFFにより、提出対象とするメンバー局を指定することが可能。

- ・合計ポイント数が申請可能なポイント数であり、メンバー選択数が1局の場合は、OnlyOne申請可能の表示「例1参照」。
- ・選択メンバー数が2局以上の場合かつ、申請可能ポイント数であれば警告表示はされない「例2参照」。
- ・申請可能ポイント数未満の場合は、「ポイント(交信数)不足」の警告表示「例3参照」。
- ・絞込実施ボタン操作と絞込後申請用データシート名表示「例4参照」。

< ● 1>メンバー1局選択で、ポイント合計値が申請可能なポイント数の場合

「OnlyOne申請可能」表示あり



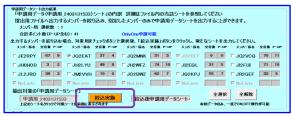
<例3>ポイント数が不足している場合

「ポイント(交信数)不足」表示あり



<例4>「絞込実施」ボタンクリック操作と絞込後申請用データシート名表示

①ボタンクリックにより、申請用データ編集開始となり、終了するまでボタン色(オレンジ)へ変化。



1

<例2>ポイント合計値が申請可能なポイント数の場合

表示なし(OnlyOne以外のため)



②終了後、作成された絞込後申請用データシート名を表示



1. 2. 事前準備画面

申請に必要な交信データを取得し、ツール内に配置するための事前作業「QSOデータ一覧シート作成」と「HamLogQSOデータ取得」を実施する画面。 TurboHAMLOGからのデータ取得については、「初めて使う場合」の1. HamLogQSOデータの取得を参照。

1.2.1. 画面の各項目説明

(1) 各ボタン1~4機能について



QSOデータ一覧シートを作成するためのボタン ・2つのラジオボタンの条件(④参照)によりQSOデータ一覧を 1 提出したファイルより読み取り作成。 ・ボタン実行中はボタン色を薄緑に変更。 HamLogQSOデータを取得するためのボタン ・ボタン下点線内に「HamLogQSOデータ取得中」等のメッセージ を表示。 ボタン実行中はボタン色をオレンジに変更。 本画面を閉じるためのボタン ・前の「CardRallyGIFU(申請者用)」画面へ戻る。 QSOデータ一覧シート作成条件選択(ラジオボタン) 新規シート作成 ・既存シートの有無に関わらず、QSOデータ一覧シートを新規作成 する場合に選択。既存シートが在る場合は削除される。 既存シートにデータ追加 ・画面起動直後は、こちらが選択されている。

(2) 各種表示エリア

事前準備画面は、2つ(①~②の枠内)の表示エリアで構成



提出済QSOデータ一覧シート作成欄

既存シートが存在する場合に選択。 既存データの後ろにデータ追加。

QSOデータ一覧シート作成ボタンにより、本ツールにて作成した 提出済または提出予定のファイルを読み込み、

QSOデータ一覧シートが存在しない場合は、新規作成する。

「QSOデータ一覧シート」をファイル内に出力。
・QSOデータ一覧シートは、新規作成、既存データ追加の選択が
可能。

HamLogQSOデータ取得欄

・HamLogQSOデータ取得ボタンにより、HamLogより取得した CSVファイルを読み込み、「カードラリーQSOデータ」、 「申請用データ」シートをファイル内に出力。

出力後は、前(CardRallyGIFU(申請者用))画面に戻る。 カードラリーGIFU開催期間中における、カードラリーメンバーとの 交信記録を抽出し、QSOデータ一覧シートが存在する場合は、 交信情報を除外し、未提出分の交信情報を「カードラリーQSO データ」シートへ出力。

・出力した「カードラリーQSOデータ」より、ポイントアップ対象となる
 カードラリーメンバーの移動地との交信、ポイントアップ日の情報抽出等を実施し、「申請用データ」シートを出力。

「申請用データ」シートへのデータ設定は、"1日1QSO"とするため、プログラムとしては同日の初回のQSO分を抽出。ただし、ポイントアップ対象交信が存在する場合はポイントアップ交信分が優先。

②-1 メッセージ表示部

「HamLogQSOデータ取得中」、「申請用データ出力中」等のメッセージを表示。

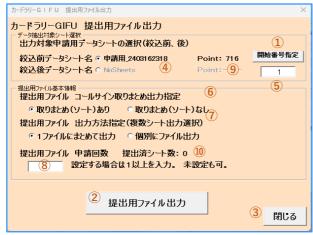
注意:出力対象件数が10000件を超えるような場合、件数に比例して処理に時間がかかります。

1. 3. カードラリーGIFU 提出用ファイル出力 画面

出力対象申請用データシートを選択し、提出用ファイルを出力実施する画面。

- 1. 3. 1. 画面の各項目説明
- (1) 各ボタン、テキスト①~⑩について

画面例 < 絞込後データシート名が未出力の場合> ④ のラジオボタン(下段)が空白



<絞込後データシート名が出力済の場合> ④のラジオボタン(下段)がON



<絞込後データシート名で出力後> 絞込前データシート名部分が選択不可



④で指定した申請用データシートより提出用ファイルを作成する際、データ取得開始番号を指定するボタン。

・開始番号指定ボタンのクリックにより、対象の申請用データシートの セルが選択された位置(行)の番号をテキスト枠に設定。

・位置選択がされていない場合は、"1"を設定。

・申請用データシートがアクティブでない場合は、本ボタンクリックにより、対象シートを表示。

データ抽出対象シート選択(ラジオボタン)で指定した申請用 データシートより提出用ファイルを作成出力するボタン。

・選択された申請用データシート④の開始番号位置の値⑤を先頭 にデータを取得し、出カファイルパターン⑤、⑥、⑦、⑧の条件により、 提出用ファイルを出力。

・「提出用ファイル出力」ボタンクリックによるイメージは、「はじめて使う場合の 4. 提出用ファイル出力」項を参照。

本画面を閉じるためのボタン。

³ 前の「CardRallyGIFU(申請者用)」画面へ戻る。

出力対象申請用データシート選択(ラジオボタン)

4 「絞込前データシート名」

前画面の申請用データシート名と同じ。

「絞込後データシート名」

前画面の絞込後申請用データシート名と同じ。

未設定時は「NoSheets」表示、選択不可(左図上段)。

・提出用ファイル出力後、選択されて無いデータシート名が非活性(選択不可) 化される

5 開始番号指定 (テキスト)

•初期値は"1"

値設定は、「開始番号指定」により取得された番号、または、 直接記入した1以上の数値。

・提出用ファイル出力後は、次回開始位置が設定される。

⑥ 提出用シート取りまとめ出力選択(ラジオボタン)

取りまとめ (ソート) あり

提出用ファイル出力時、コールサイン毎に取りまとめ出力する

·取りまとめ(ソート)なし

提出用ファイル出力時、コールサイン毎に取りまとめせず出力する

⑦ 提出用ファイル出力方法指定(ラジオボタン)

・1 ファイルにまとめて出力する

提出用ファイル出力時において、申請用データファイルに存在するデータ分を1シート毎に連続して出力する。

ただし、最終シートのデータ数が1シート未満のものは出力しない。 ・個々に出力する (既存の出力方法)

提出用ファイル出力時に、1ファイル1シート毎にファイル出力を実行す る

8 提出用ファイル申請回数設定欄(テキスト)

初期値は空白。

・提出用ファイル出力時において、申請回数部分へ設定する値を指定することが可能。

設定値は、空白、1~の数値のみ。数値以外は受付ない。設定値が設定されていた場合、提出用ファイル出力時に設定した番号を提出用ファイルに設定し、ファイル出力後は、申請回数に1加算された値が設定される。

申請データシートポイント表示(テキスト)

・絞込前、絞込後データシートの合計ポイント数をそれぞれ表示する。

提出済シート数表示(テキスト)

・提出済QSOデータ一覧に登録された、提出済回数を表示。 シート内のデータ件数と1シートの最大件数より算出 ・提出済QSOデータ一覧シートが存在しない場合は、0を表示。

【2】各シート、ファイル説明

本ツール(ファイル)に必要なシート、出力されるシート、ファイルについて下記表に記載

	(ノアイル) に必要なシート、出力されるシート、ノアイ シート、ファイル名	概要説明
		[カードラリーツール起動] ボタンを配置および、本ツールツールを動かすために必要な設定情報を記載した
1	「起動、基本データ」シート	シート CEU-ET#の「ファムンナー型と伝統・ナフォームは悪汁・奈日よりファイ CEU-ET#の「ファムンナー型と伝統・ナフォームは、ナ
		・C列に記載の「ここから右側を編集する場合は要注意」とある通り、C列より右側の情報編集する場合は、本ツールが動作しなくなる場合もあるため、十分注意すること。
		事務局提供の提出用シート
2	「CardRally2024」シート	・提出用ファイルはこのシートをコピーして使用するシートのため、変更、削除はしないでください。 ・申請者の情報等、交信情報と関係の無い箇所については、追記していただいても大丈夫です。
3	「カードラリーQSOデータ」シート	[HamLogQSOデータ取得] ボタンにより出力されるシート
		・読み込んだCSVファイルより、メンバーリストと一致した交信データを出力。
		・「提出済QSOデータ一覧」が存在する場合は、データ一覧に存在する交信済の情報を除外。
	「申請用_YYMMDDHHMM」シート	[HamLogQSOデータ取得] ボタンにより出力される絞込み前のシートと、 [絞込実施] ボタンにより出力される絞込み後のシートの2種
4		・シート名は作成された年月日時分で構成 作成日時が同一の場合は、順次シート名に枝番(_1、_2・・・)を付与。
		・絞り込み前の出力データは、「カードラリーQSOデータ」シートの情報より、ポイントアップ対象交信情報 (ポイントアップ対象移動地、ポイントアップ日)をチェックしデータ設定(B列に「P-UP!!」の表示を設 定し出力)。
		・絞り込み後の出力データは、チェックボタンで選択したメンバー局との交信情報を「カードラリーQSOデータ」 シートより、ポイントアップ対象交信情報(ボイントアップ対象移動地、ボイントアップ日)をチェックしデー タ設定(B列に「P-UP!!」の表示を設定し出力)。
		・メンバー局との交信は、1日1交信のみシートへ出力し、複数の交信履歴が存在する場合、最初の交信を優先。
		ポイントアップ(移動)交信が存在する場合は、ポイントアップ交信が最優先。
		・出カ例は、「OnlyOne用出力手順」、「複数メンバー選択出力手順」、「ポイントアップ表示について」等を参照。
		・交信数に関係なく出力される。
	提出用ファイル	『カードラリーGIFU提出用ファイル出力』画面操作により、事務局へ提出する「CardRally2024]シートに 申請データを出力したファイル
		・ファイル出力時に、取りまとめ出力指定により、交信相手(コールサイン)毎にソート出力することが可能。 初期値で指定済。 ※ソート機能はExcel仕様(昇順)に従って制御
5		・出力例は、「はじめて使う場合」または、「OnlyOne用出力手順」、「複数メンバー選択出力手順」、「ポイントアップ表示について」を参照。
		・ファイルへ出力されるシート数は、1ファイルに複数シート出力と、1ファイルに1シート出力の2つのパターンで
1		ファイル出力が可能。
1		・1ファイル1シートの場合のみ、交信数に関係なく出力可能(最大数以内の場合)
-		・出力されるファイルは保存されていないため、操作者にて任意のフォルダへ保存を実施する必要がある。
	「提出済QSOデータ一覧」シート	『事前準備』画面の「QSOデータ一覧シート作成」により出力するシート
		・既に提出(出力)した提出用ファイルから交信情報を読み込み、一覧化したシートで、新たな申請用 シート作成時に提出済の交信情報を除外するために必要となるシート。
		・データ内容は、提出した回番号、各回の通番(NO)、交信相手、交信日、その他 の5つの情報で構成。
6		・シートの作成は、事前準備画面の『QSOデータ一覧シート作成』ボタンにより作成。
		・「提出済QSOデータ一覧」シート作成時 ・「新規作成」を選択時、既にシートが存在する場合は、既存シートを削除する。 ・「既存シートにデータ追加」を選択時、既存のシートの最終データの次から追加の提出済ファイルから読み込む。 提出済OSOデータ一覧にデータが存在しなかった場合は、新たにシートを作成する。
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		・出力、操作例は、「はじめて使う場合」を参照
	ļ.	and the second s